



令和 7 年 1 月
日 本 学 士 院

日本学士院会員候補者推薦要項

日本学士院は、日本学士院会員選定規則第 2 条の規定により、令和 6 年 1 2 月 1 2 日開催の第 1 1 8 4 回総会において、下記により日本学士院会員の補充を行うことを決定しました。会員候補者を推薦される場合には、「日本学士院会員選定規則（抄）」及び「日本学士院会員分科別一覧」を参照の上、必要書類を取り揃え、期間内に本院に御提出ください。

記

1. 各部、各分科において補充すべき会員の数

第 1 部（人文科学部門）

第 1 分科（文学・史学・哲学）	4 名以内
第 2 分科（法律学・政治学）	1 名以内
第 3 分科（経済学・商学）	2 名以内

第 2 部（自然科学部門）

第 4 分科（理学）	1 名以内
第 5 分科（工学）	2 名以内
第 6 分科（農学）	2 名以内
第 7 分科（医学・薬学・歯学）	1 名以内

計 1 3 名以内

2. 書類の提出期間

令和 7 年 1 月 1 4 日から 2 月 2 8 日まで（消印有効）

3. 必要書類

- (1) 推薦書（別紙様式）
- (2) 履歴（学歴、職歴、賞罰等について概要を記載する。）
- (3) 主要な学術上の業績（その大要を記載する。）
- (4) 主要な著書及び論文の目録（簡単な解説を附する。）

4. 書類の提出先及び問合せ先

(1) オンラインフォームでの提出

以下の URL 「日本学士院会員候補者の推薦について」を御確認いただき、記載のリンク先より必要項目の入力及び「3. 必要書類」（1）～（4）をアップロードしてください。

<https://www.japan-acad.go.jp/japanese/news/2025/011001.html>

(2) 郵送での提出

「3. 必要書類」(1)～(4)を下記宛に御提出ください。

※A4判、正副2通、1通はコピー可

《問合せ先》

日本学士院庶務係

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-32

電話：03-3822-2101（直通）

e-mail：gksuisen@mext.go.jp

本院webサイト：<https://www.japan-acad.go.jp/>

5. 選考結果について

本年12月中頃に、推薦者に通知及び本院webサイトにてお知らせします。

6. 留意事項

- (1) 選考は、提出された書類に基づき行われます。選考に当って情報が不足する場合には、再度書類の提出を依頼する場合がありますので、書類は締切に余裕を持って提出願います。
- (2) 日本学術会議会員ごとに1名を推薦することができます。
- (3) 別紙の「履歴」、「主要な学術上の業績」、「主要な著書及び論文の目録」の様式は任意です。
- (4) 別紙の「履歴」には、元号（西暦を併記）年及び月を入れ、現職がある場合には（現在に至る）を記入願います。
- (5) 別紙の「主要な著書及び論文の目録」には、簡単な解説を附することとなっています。文献1つずつに附していただくか、若しくは全体にまとめて附していただくか、いずれでも結構です。

7. その他

推薦書の様式については、「日本学士院webサイト（<https://www.japan-acad.go.jp/>）」上からダウンロードすることができます。

日本学士院会員候補者推薦書

1. 被推薦者 (氏名)
1. 本籍 (都道府県名のみ記す。)
1. 住所 〒
1. 生年月日
1. 現職 (若しくは最終の職)
1. 専攻学科目
1. 所属すべき分科の指定

上記〇〇〇〇氏を学術上功績顕著な科学者と認め日本学士院会員候補者に推薦します。

年 月 日

推 薦 者

日本学術会議会員 (第 部所属)

氏 名

住 所

日本学士院長 殿

日本学士院会員候補者推薦書

1. 被推薦者 上野太郎 (うえの たろう)
1. 本籍 東京都
1. 住所 〒110-●●●● 東京都台東区上野公園●-●-●
1. 生年月日 昭和● (19●●) 年●月●日
1. 現職(若しくは最終の職) ●●●大学教授、●●大学名誉教授
1. 専攻学科目 ●●学
1. 所属すべき分科の指定 第●部第●分科
※「日本学士院会員選定規則(抄)」第3条第5項及び同注を参照

上記上野太郎氏を学術上功績顕著な科学者と認め日本学士院会員候補者に推薦します。

令和● (20●●) 年●月●日

推薦者

日本学術会議会員 (第●部所属)

氏名 ●●●● (※自署及び押印不要)

住所 〒110-●●●● 東京都台東区●-●-●

日本学士院長 殿

日本学士院会員選定規則（抄）

（候補者の推薦）

第3条 日本学士院会員候補者の推薦をなし得る者は次のとおりとする。

- (1) 学術機関（大学の各学部及び研究所を含む。）及び学会（学術機関及び学会を以下「学術団体」という。）
- (2) 日本学士院会員
- (3) 日本学術会議会員

2 前項の推薦資格者は、各学術団体又は各個人ごとに候補者1名を推薦することができる。

3 日本学士院会員と日本学術会議会員との2つの資格を有する者が候補者を推薦する場合には、日本学士院会員の資格をもってこれを行うものとする。

4 日本学士院会員は、その所属する分科の候補者に限り推薦することができる。

5 日本学術会議会員は、その所属する部に相当する分科の候補者に限り推薦することができる。

（注）上記第5項の「所属する部に相当する分科」とは、次の各号に掲げる日本学術会議の部に対して、当該各号に定める日本学士院の分科とする。ただし、推薦者及び被推薦者の専攻学科目を勘案して、各号に抛りがたい場合は、推薦者は別の分科を指定することができる。

- 一 日本学術会議第1部 日本学士院第1部第1、第2、第3分科
- 二 日本学術会議第2部 日本学士院第2部第4、第6、第7分科
- 三 日本学術会議第3部 日本学士院第2部第4、第5分科

6 推薦者は、次の事項を記載した推薦書を、日本学士院長に提出しなければならない。

- (1) 被推薦者の氏名、本籍（都道府県名のみ記す。）及び住所
- (2) 所属すべき分科
- (3) 推薦者の氏名（学術団体の場合にはその代表者とし、その代表者の団体における地位、役名等を記載する。）
- (4) 履歴（概要でよい。）
- (5) 主要な学術上の業績（その大要を記載する。）
- (6) 主要な著書及び論文の目録（簡単な解説を附する。）

- 7 推薦書は、別記の書式による。
- 8 推薦には本人の承諾を必要としない。但し、本人はこれを辞退することができる。
- 9 推薦書は、あらかじめ公示された期間内に、日本学士院事務室あてに提出しなければならない。
- 10 送付による推薦書が期間経過後に到達したときは、郵便の消印等により、期間内の発信を確認し得る場合に限り、期間内に提出されたものとみなす。
- 11 推薦書が期間経過後に提出された場合には、これを受理しない。推薦書がいちじるしく要件を欠くときも同様である。
- 12 提出した推薦書に不備があるときは、推薦者はこれを補正しなければならない。
- 13 選考委員会が、補正を条件として推薦書を受理した場合において、委員会の定める期間内に補正しないときは、その受理を無効とする。

(被推薦者)

第4条 推薦される候補者は、学術上功績顕著な科学者でなければならない。その資格の判定は選考委員会の審査による。

日本学士院会員分科別一覧

第1部(人文科学部門)

(令和7年1月現在)

分科別	会員名(専攻学科目)			現員	定員
第1分科 (文学 史学 哲学)	久保 正彰 (西洋古典学)	川本 皓嗣 (比較文学・比較文化)	松浦 純 (ドイツ文学)	26	30
	田仲 一成 (中国文学)	佐藤 彰一 (西洋中世史)	伊藤 邦武 (哲学)		
	斯波 義信 (中国史)	塩川 徹也 (フランス文学)	高田 康成 (英文学・西洋古典学)		
	久保田 淳 (日本文学)	東野 治之 (日本史)	金水 敏 (日本語学)		
	吉川 忠夫 (中国史)	芋阪 直行 (認知心理学・認知科学)	藤本 幸夫 (朝鮮書誌学・朝鮮語学)		
	御牧 克己 (インド・チベット仏教学)	間野 英二 (中央アジア史)	河野 元昭 (日本美術史学)		
	難波精一郎 (心理学)	田代 和生 (日本史)	吉田 和彦 (言語学)		
	玉泉八州男 (英文学)	揖斐 高 (日本文学)	小田部胤久 (美学芸術学)		
	青柳 正規 (美術史学・古典考古学)	深沢 克己 (西洋史学)			
第2分科 (法律学 政治学)	小田 滋 (国際法)	佐々木 毅 (政治学・西洋政治思想史)	根岸 哲 (経済法)	23	24
	塩野 宏 (行政法)	佐藤 幸治 (憲法学)	中山 信弘 (知的財産法)		
	三宅 一郎 (政治学・政治行動論)	鈴木 茂嗣 (刑事法学)	井上 正仁 (刑事訴訟法)		
	樋口 陽一 (憲法学)	藤田 宙靖 (行政法)	伊藤 眞 (民事訴訟法)		
	三谷太一郎 (日本政治外交史)	村松 岐夫 (政治学)	川人 貞史 (政治学・政治過程論)		
	奥田 昌道 (民法)	江頭憲治郎 (商法)	岩原 紳作 (商法)		
	菅野 和夫 (労働法)	渡辺 浩 (日本政治思想史)	田中 成明 (法哲学)		
	小山 貞夫 (西洋法制史)	瀬川 信久 (民法)			
第3分科 (経済学 商学)	根岸 隆 (経済理論・経済学史)	西村 和雄 (複雑系経済学・経済変動理論)	矢野 誠 (国際経済学・動学的一般均衡理論)	14	16
	新開 陽一 (経済学)	斎藤 修 (経済史・歴史人口学)	佐和 隆光 (計量経済学・環境経済学)		
	石井 寛治 (日本経済史)	野中郁次郎 (経営学)	八田 達夫 (公共経済学)		
	藤田 昌久 (都市・地域経済学 [空間経済学])	岩井 克人 (経済学)	樋口 美雄 (労働経済学)		
	竹内 啓 (統計学・計量経済学)	大塚啓二郎 (開発経済学)			
小計				63	70

第2部 (自然科学部門)

分科別	会員名(専攻学科目)			現員	定員
第4分科 (理学)	江崎玲於奈 (物理学)	深谷 賢治 (数学)	鈴木 啓介 (有機合成化学)	30	31
	広中 平祐 (数学)	黒岩 常祥 (生物科学)	北川 進 (錯体化学)		
	久城 育夫 (岩石学)	小林 誠 (物理学)	梶田 隆章 (宇宙線天文学)		
	森 重文 (数学)	長田 重一 (分子生物学・生化学)	柳田 敏雄 (生物物理学)		
	竹市 雅俊 (発生生物学・細胞生物学)	鈴木 章 (有機化学)	家 正則 (天文学)		
	大村 智 (天然物有機化学)	深尾 良夫 (地球物理学)	安藤 恒也 (物理学)		
	山崎 敏光 (物理学)	佐藤 勝彦 (天文学)	川合 真紀 (物理化学)		
	松野 太郎 (気象学・地球物理学)	和田英太郎 (同位体生態学・同位体生物地球化学)	鈴木 厚人 (物理学)		
	柏原 正樹 (数学)	巽 和行 (無機化学)	香取 秀俊 (量子エレクトロニクス)		
西田 篤弘 (宇宙空間物理学)	大隅 良典 (分子細胞生物学)	平 朝彦 (地質学)			
第5分科 (工学)	白川 英樹 (高分子化学・物質科学)	飯島 澄男 (物質科学)	中西 準子 (環境リスク管理学)	15	17
	野依 良治 (有機化学)	吉川 弘之 (精密工学・一般設計学)	十倉 好紀 (固体物性学・電子工学)		
	岩崎 俊一 (電子通信工学・磁気工学)	榊 裕之 (半導体電子工学)	天野 浩 (半導体電子工学)		
	井上 明久 (金属材料学)	金出 武雄 (情報学・ロボット工学・人工知能)	岡田 恒男 (建築学・耐震工学)		
	田中 耕一 (質量分析)	吉野 彰 (電気化学)	甘利 俊一 (数理工学)		
第6分科 (農学)	入谷 明 (家畜繁殖学)	喜田 宏 (獣医微生物学)	磯貝 彰 (生物有機化学)	10	12
	和田 光史 (土壌学)	安元 健 (水産化学)	清水 昌 (応用微生物学)		
	四方英四郎 (植物病理学・ウイルス学)	丸山 利輔 (農業農村工学)			
	佐々木恵彦 (森林資源科学・樹木生理学)	西澤 直子 (植物栄養学)			
第7分科 (医学 薬学 歯学)	井村 裕夫 (内科学)	鈴木 邦彦 (神経化学・神経内科・遺伝性神経疾患)	大塚 榮子 (核酸化学)	19	20
	大塚 正徳 (薬理学)	中西 重忠 (分子神経科学)	宮下 保司 (生理学・システム神経科学)		
	岸本 忠三 (免疫学)	山中 伸弥 (幹細胞生物学)	間野 博行 (ゲノム医学・腫瘍学)		
	廣川 信隆 (分子細胞生物学)	審良 静男 (免疫学)	白土 博樹 (医学・医理工学)		
	関谷 剛男 (薬学・核酸有機化学)	宮園 浩平 (分子病理学・腫瘍学)	上田 龍三 (内科学・臨床腫瘍学・血液腫瘍学)		
	本庶 佑 (医化学・分子免疫学)	垣添 忠生 (泌尿器科学)			
	須田 立雄 (歯学)	藤吉 好則 (構造生理学)			
小計				74	80
合計				137	150